

平成22年度

事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

財団法人三重北勢地域地場産業振興センター

1. センター運営管理業務

地場産業の活動拠点として、施設の効果的な運営と維持管理に努めた。

自主財源確保のため、販売手数料収入や施設使用料収入の増加に努めた。

- ・名品館の運營業務については、じばさん市、感謝フェア、グランドセール等の開催や商品の品揃えの充実を図り、物産展・見本市への積極的な出展等により、販路促進、集客に努めた結果、売上総額は65,547,986円で前年度比101.7%となり、わずかに上回った。
- ・貸館事業については、特に「営業での利用」が減少しているが、四日市税務署の「確定申告会場」の使用により、施設使用料収入は51,559,703円で前年度比101.9%となった。

○平成14年度から設置しているインキュベートルーム7室の維持管理に努めた。

軽食堂業務は、フォークローバー(株)に委託し施設利用者に飲食物を提供している。

2. 総合振興事業の実施

需要開拓、人材養成、情報収集提供、相談指導の主要事業に加え、ビジネスインキュベータを活用した新規産業創出事業に取り組んだ。

(1) 需要開拓事業

名品館の販売や物産展の開催、参加を通して地場産品のPR、販路拡大に努めた。

見本市・物産展への参加

三重県北勢地域の地場産品を広くPRし販路拡大を図るため、名古屋及び東京において展示・販売を行った。(名古屋金山は2回から3回とした。東京ドームは4日間から9日間の開催となった。)

三重県北勢地域の地場産品フェア‘10(part1)新茶まつり

～伊勢の銘茶(新茶)を萬古で飲む～

会 期 平成22年5月6日(水)、7日(木)

会 場 金山総合駅イベント広場(名古屋):10回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース(1,800×900) 萬古焼、伊勢形紙実演含む

売上額 1,760,985円(前年度比5.6%減)

三重県北勢地域の地場産品フェア‘10(part2)土鍋&菓子まつり

会 期 平成22年11月4日(木)、5日(金)

会 場 金山総合駅イベント広場(名古屋):11回目

来場者数 10,000人

出展者数 24ブース(1,800×900) 実演なし

売上額 2,246,510円(前年度比0.2%減)



土鍋&菓子まつり(金山)

③ 三重県北勢地域の地場産品フェア ‘11 (part3) 新酒まつり (新規)

会 期 平成23年3月3日(木)、4日(金)
会 場 金山総合駅イベント広場(名古屋): 12回目
来場者数 10,000人
出展者数 24ブース(1,800×900) 実演なし
売 上 額 2,067,370円



新酒まつり(金山)

丸彦酒造、宮崎本店、早川酒造部(川越)と3つの蔵元が参加、真冬の寒さであったが順調に販売・PRできた。

・四日市商工会議所と連携して実施した金山総合駅の①、②、③の売上合計額は6,074,865円であった。

④ 三重県北勢地域の 地場産品フェア ‘10

会 期 平成22年10月12日(火)~14日(木)
会 場 新宿西口イベント広場(東京)
来場者数 20,000人
出展者数 28ブース(1,500×900)
売 上 額 1,248,160円(前年度比13.3%減)



新宿西口

今年度も四日市商工会議所と連携し、PRを実施した。

⑤ 「MAHORоба (まほろば) 共創 津×四日市」 出展

会 期 平成22年11月13日(土)、14日(日)
会 場 代々木公園
出展者数 2ブース
売 上 額 85,995円(前年度比79.1%減)

昨年と同様、四日市市東京事務所からの依頼で、イベントに参加、センターが商品・荷物等の搬入出の「キーステーション」 代々木公園となり円滑な事業運営に協力した。

上野公園が使用できなかったため、代々木公園へ場所を変更し、実施した。

⑥ ふるさと祭り東京

会 期 平成23年1月8日(土)~16日(日)
9日間
会 場 東京ドーム
来場者数 379,778人
出展者数 2ブース(2,330×3,920×2ブース)
売 上 額 719,630円(前年度比22.8%増)



東京ドーム

四日市市・ばんこの里会館と連携し、PRしたことで、十分なアピールができた。なお、会期が4日間から9日間に延びたことにより、売上が伸びた。その中では、泗水の里とペット茶が好評であった。

デザインプラザ HOFU じばさんフェア ‘10「全国うまいもの市」(商品のみ出展)
会 期 平成22年11月13日(土)、14日(日)
会 場 (財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター及び隣接駐車場
売 上 額 63,150円(前年度比13.2%増)

平成23年新春初売り企画「全国お正月市」(商品のみ出展) 新規
会 期 平成23年1月1日(土)～3日(月)
会 場 財団法人山梨県甲府・国中地域地場産業振興センター
売 上 額 29,800円

名品館の運営

地域地場産品について、豊富な商品群の紹介やイベントの開催を行い、地域内外に向けて幅広くPRを行った。

地場産品の販売については、商品の品揃えの充実やリピーターの確保を図るとともに四日市税務署の「確定申告会場」を誘致したことによって、年間売上は

65,547,986円で前年度を109万円ほどアップすることができた。
(17年度40,646,474円 18年度53,017,397円 19年度56,385,533円
20年度63,863,700円 21年度64,456,757円)

①じばさん市の開催(8回)

平成22年5月4日(火・祝)、5日(水・祝)「新茶フェア」
6月28日(月)～7月4日(日)「そうめんまつり」
7月30日(金) 「夏の菓子フェア」四日市菓子組合
10月2日(土)、3日(日) 「鈴鹿の物産&ごま製品フェア」
11月20日(土)～12月24日(金)「歳末市・お歳暮好適品フェア」
12月4日(土)、5日(日) 「うどん・きしめんフェア」
平成23年1月4日(火)～9日(日) 「新春福袋セール」
2月6日(日) 「ザ・銘菓 ～匠の技と味フェア～」朝明菓子組合

②「開館記念 感謝フェア」の開催

平成22年7月30日(金)～8月5日(木)
地場産品の割引セールの実施



じばさん市 新茶フェア

③「名品館グランドセール'11」の開催

平成23年3月5日(土)～13日(日) 2割引セール(食品1割引)

3月5日、6日、12日、13日 特別企画「春の都まんじゅうまつり」は
4日間で約1,100個を販売、「四日市名物」であることをPRした。

④「確定申告会場に伴う出張販売」の開催

平成23年2月14日(月)～3月15日(火)

確定申告来場者に対して特設コーナーを設けて、お値打ちセールを実施した。

○構成地域内での物産展等への参加(出展15回、延べ28日)

平成22年4月3日(土)～4日(日)「第19回エキサイト四日市バザール2010」

会場：諏訪新道通り、沖ノ島交差点付近

4月16日(金)～18日(日)「第7回四日市萬古焼新作フェア」

会場：ばんこの里会館3階

5月8日(土)～9日(日)「萬古まつり」

会場：ばんこの里会館1階

6月13日(日)

「YYストリート 歩行者天国」

会場：近鉄四日市駅前歩行者天国

9月13日(月)～15日(水)「日本スポーツマスターズ2010

三重大会 ゴルフ」

第1会場 ゴルフ男子：名四カントリークラブ

第2会場 ゴルフ女子：四日市カントリー倶楽部

9月18日(土)～20日(月祝)「日本スポーツマスターズ2010

三重大会 空手道」

会場 四日市中央緑地体育館

9月18日(土)～20日(月祝)「日本スポーツマスターズ2010

三重大会 ソフトテニス」

会場 四日市ドーム

9月25日(土)

「第37回技術士全国大会」

会場 文化会館

10月9日(土)

「秋の萬古まつり」

会場 商業組合前駐車場

10月16日(土)～17日(日)

「くわな大物産展」

会場：サンファーレ西側1階歩道

10月24日(日)

2010四日市サイクル・スポーツフェスティバル」

会場：鈴鹿山麓リサーチパーク(水沢・桜地区)

10月29日(金)～31日(日)「おいん鈴鹿観光と物産展」

会場：白子サンズ1階西入口前

11月7日(日)

「第25回東海道関宿街道まつり」

11月14日(日)

会場：東海道関宿の街道一帯
「第29回東員町農業商工祭」
会場：多目的グラウンド横駐車場



日本スポーツマスターズ（中央緑地体育館）



おいん鈴鹿観光と物産展（白子サンズ）

○地場産品交流事業

全国の地場産業振興センターと商品の交流を行い、相互のPR、販路開拓に努めている。（7センターの地場産品を展示・販売、今治のコットンマフラー、山梨のネクタイ、木曽の漆器は好評で順調な売上が出ている。）

(2) 人材養成事業

地場産業経営支援セミナー

産地組合が抱える課題や業界の動向を踏まえ、支援策となる組合単位での講座を実施した。

四日市機械器具工業協同組合

日 時：平成22年5月20日(木)、6月7日(月)

平成23年3月1日(火)

18:30~20:30

場 所：じばさん三重5階 情報交換室2又は小研修室

参加数：5月：18名 6月：16名 3月：12名(延べ42名)

研修内容：5/20「産業構造の変化と試作ビジネスについての考察」

6/7「産業構造の変化と試作ビジネスについての考察2」

3/1「中小企業のMOT」

講 師：三重県産業支援センター 村上 一仁氏

夏休み小学生じばさん講座

構成地域内の小学生高学年を対象に当地域の地場産業の歴史的発展や現状などを総合的に解説し、地域産業への認識を深めることを目的に体験も含め実施した。

夏休み小学生じばさん講座 上級コース(5、6年生対象)

日 時：平成22年7月26日(月)~27日(火)〔2日間コース1回実施〕

場 所：当センター 6階ホール、展示室、5階大研修室、4階視聴覚室

参加数：99名

実演者：萬古焼陶芸家 清水 潤氏、清水 潮氏
伊勢形紙 伝統工芸士 今坂国雄氏、野間得生氏

体験：四日市萬古焼の器作り（成型型を使った器）

電動ろくろ体験

伊勢形紙 色紙彫刻



伊勢形紙しおり彫刻

夏休み小学生じばさん講座

初級コース（4年生対象）

日時：平成22年7月29日（木）、30日（金）

〔半日コース2回実施〕

場所：当センター 6階 ホール、展示室

参加数：236名（29日:119名、30日:117名）

実演者：萬古焼陶芸家：荻内善晴氏他2名

伊勢形紙：杉野隆司氏（29日）

南 健司氏（30日）

体験：四日市萬古焼絵付け、伊勢形紙しおり彫刻



萬古焼絵付け体験

（3）情報収集提供事業

地場産業めぐり

構成地域内の伝統産業に関わる施設や製造企業を見学し、市民に地場産業への理解を深めていただくことを目的に実施した。

第1回（四日市市、菰野町）

日時：平成22年7月13日（火）

参加数：38名

見学先：（有）四日市酪農 ー菰野ふるさと館

ー四日市茶業センターー 水沢茶農業（協）

ー八里屋菰野工場ー三鈴陶器

第2回（鈴鹿市、四日市市）

日時：平成22年9月29日（水）

参加数：39名

見学先：カネスエ製麺所 ー鈴鹿市伝統産業会館 ー 東海醸造(株)

ー鈴鹿市役所庁舎15階展望室ー神楽酒造

③第3回（桑名市、川越町）

日時：平成22年11月18日（木）

参加数：37名

見学先：サンジルス醸造(株) 一輪中の里
一 (株)小杉食品一六華苑一 (資) 早川酒造部



サンジルス醸造

第4回 (四日市市、いなべ市、菰野町)

日 時：平成23年3月11日 (金)

参加数：40名

見学先：(有)弥生陶園・(有)藤総製陶所・(株)南景製陶園

一いなべ市農業公園一指勘建具工芸一(名)早川酒造

各種情報図書を整備、新聞・機関誌からの情報収集

インターネットによる情報提供

ホームページへ直接入力し、各種事業の周知や関連情報をリアルタイムで提供し、アクセス数の増加に努めた。

(4) 相談指導事業

地場産業界や中小企業者を対象に、四日市商工会議所、ジェトロ、発明協会、三重県産業支援センター等との連携により各種相談を実施した。なお、産業財産権相談会、ベンチャー起業相談以外の各種相談指導は会議所へ斡旋した。

(5) ビジネスインキュベータ事業

新たな事業の創出や新技術・新商品の開発による新事業へ挑戦しようとする企業の支援および見本市等への出展補助を行った。

6月に1社が事業展開が難しくなり、経営不振により退出した。7月と12月に入居審査委員会を開催し、それぞれ入居企業を決定した。期間延長で4年目も入居していたルーム2 フードテック・トレーディング(株)については、3月31日で退出した。なお、ルーム3については、現在も空室であり、引続き募集を行なっていく。

ルーム1	株式会社 OASES アイフェイト	平成22年6月7日退出 平成23年1月5日入居
ルーム2	フードテック・トレーディング(株)	平成23年3月31日退出
ルーム3		空室
ルーム4	(株)ユナイテッドワークス	入居中
ルーム5	情報制御(株)	入居中
ルーム6	(株)環境思考	平成22年8月9日入居
ルーム7	MAN STUDIO	入居中

①「リーディング産業展みえ 2010」出展

日 時：平成 22 年 11 月 5 日、6 日

会 場：四日市ドーム

来場者：6, 9 1 1 名（5 日：3,251 人 6 日：3,660 人）

出展者数：213 企業・団体、323 ブース（過去最高）

内 容：BI ルーム入居企業の紹介
地場製品の展示、PR



リーディング産業展みえ 2010

②「リーディング産業展みえ 2010」出展

出展者：(株)ユナイテッドワークス（ルーム 4）

内 容：自社の PR、製品の優位性のアピール等

(6) 貸館事業

地場産業界の情報交流・人材養成あるいは技術向上の場として良質な会場を提供し、より多くの方にご利用いただけるよう努めた。なお、経済不況の中で、特に「営業」と「派遣会社」の利用が減少したが、雇用対策の一環としての職業訓練的なセミナーが増えてきている。また、大学の入試試験会場としての利用も出てきている。

四日市税務署において 2 月から 3 月中旬にかけて、「確定申告会場」としての利用があった。

(7) その他

公益法人制度改革について

法律の施行の日から 5 年間の移行期間内（平成 25 年 11 月 30 日まで）に、当センターは、公益財団法人又は一般財団法人への移行の申請をする必要がある。

「新法人制度移行検討委員会」において公益目的事業比率、補助金、固定資産税等について議論検討され、「公益財団法人」を選択する方向で報告書がまとめられた。